

Qlik Sense SaaS Alerting 機能

(2020/12 現在)

Qlik Sense SaaS の November 2020 で、Alerting 機能がリリースされました。
この機能の紹介をしたいと思います。

作成したアラートをトリガーに Qlik Sense Hub および、電子メールでアラートを受け取ることができます。

Qlik Sense SaaS でアラートを作成するためには、アプリのグラフ上で右クリックし、表示されたメニューから[アラートの作成]を選択します。

事前にフィルターパネル等でデータを絞り込んでいると、アラートのフィルターとして利用可能です。また、ブックマークもアラートのフィルターとして、利用可能です。

ここでは最新年の売上金額の粗利率が閾値以上の場合にアラートを流す例を使って、説明します。

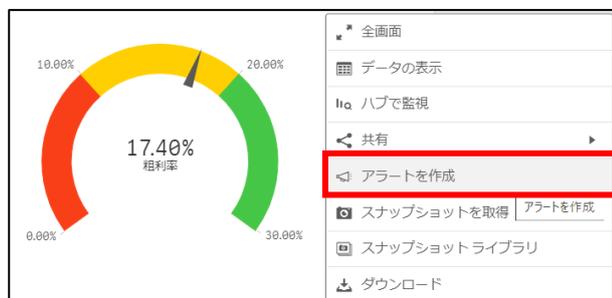
1. 最新年がフィルターされるようにブックマークを作成します。

フィルターパネル「年」などを使い、検索画面を開きます。

「=年=('\$(=max(年))）」を入力し、Enter をクリックし、ブックマークに登録します。



2. 対象のグラフ上で右クリックします。



3. アラートのタイトルをつけます。

4. [アラートにデータを追加]-[メジャーを追加]ボタンをクリックします。
メジャーはドロップダウンから、右クリックしたグラフに表示されているメジャーを選択するか、アプリに関連付けられているマスターメジャーから選択できます。



5. [データの絞り込み]を開きます。
ここでは、データの絞り込み条件を選択できます。



軸ごとに表示
選択した軸ごとに評価します。

選択
フィルター条件を設定します。

選択した軸とフィルター条件の結果がデータプレビューとして、表示されます。

6. トリガー条件を設定します。

粗利率が「0.17」を超えた場合にアラートを出す設定にしました。

現在のデータで該当するのは、「大阪支社」と「東京本社」であることがプレビューされています。

アラートを作成

1 詳細とデータ 2 条件 3 配布

条件を追加
条件が満たされると、アラートがトリガーされ、通知が送信されます。

条件 1

メジャーまたは軸 比較

粗利率 値

演算子 値

超 0.17

追加条件を追加

アラートをプレビュー

支社	粗利率
大阪支社	0.18090642513239
東京本社	0.17443013049436

戻る 次へ

7. アラートの通知頻度を選択します。

アラートを作成

1 詳細とデータ 2 条件 3 配布

通知頻度
このアラートが通知できる頻度の上限を設定します。

通知を許可

常時

常時

1時間に1回

1日に1回

週に1回

月に1回

アプリが参照可能なメンバー20名まで、アラートの通知を共有できます。

他のユーザーと共有

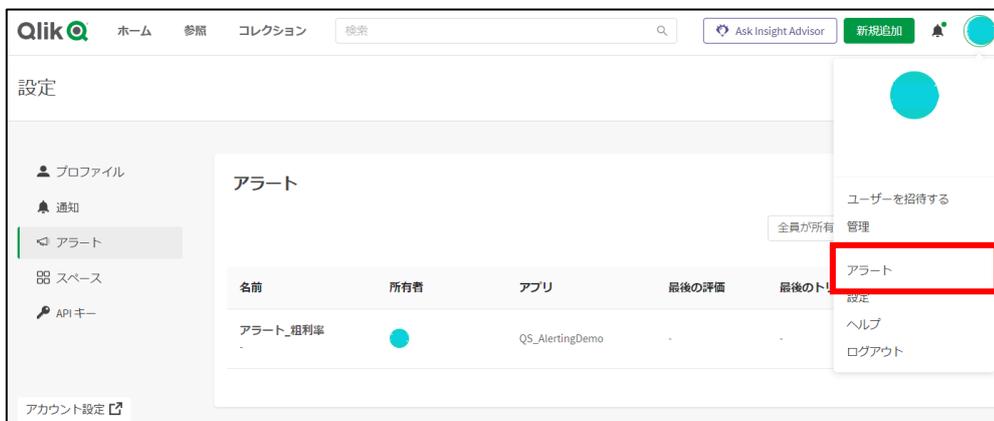
アラートは最大20人の受信者と共有できます。すべての受信者がアプリにアクセスできることを確認してください。

名前

8. 最後に[作成]をクリックすると、アラートが作成されます。



9. 作成したアラートは以下より確認が可能です。



10. アラートの通知は以下に表示されます。

